

# Marusa Letter



2017年 一坪茶園

GW直前の4月30日、静岡県中部は気持ちの良い晴天！  
一坪茶園オーナー様の茶摘み体験をレポートします。

準備万端！歩きやすい恰好で、散策しながら茶畑に向かいました。山道に咲くお花達や山ふき、中には見つけてもらえず大きく成長したタケノコも(笑)

普段見ることのない山の植物を見ながらの散策です。いい運動です！



ようやく茶畑が見えてきました！出発してから20～30分くらい歩いたかしら？あたり一面、気持ちがいい程、新芽がたくさん出ています！



お茶茶さん、こんにちは！いつも葉っぱを取ると、かわいそうでしょ！って言われるけど、今日は葉っぱとともいいの？とでも、言いたげです...



## 家族やお友達と

旅行を兼ねて  
子供の自然体験として

静岡方言：「みるい」と「こわい」聞いたことありますか？

お茶処の静岡で生まれ、全国の茶業界に伝わった言葉。「元々は静岡の方言で、『みるい』は、若いとか、柔らかいという意味。『こわい』というのは、硬いことを表す言葉で、2つとも茶葉の品質を表す言葉。「この茶葉、みるいね～」なんて使います！

今年は何年に比べ4月に入ってもなかなか暖かくなりませんでした。

天候左右されるこの時期のお茶。今年は新芽の出も遅く、昨年よりも一週間も遅い茶摘み体験となりました！

カメラマンの私に「こんなに取れたよ～！」と初めてとは思えないほどの腕前を披露してくれました！山道でちょっと疲れ気味の大人の中でひととき元気の良かった、可愛い女の子。凄く素敵な表情にシャッターを切らずにはいられない瞬間でした。



## ★ 主人がとっても気に入ってくれました

思っていた以上に新茶の芽が柔らかくて、指先で簡単にぶちぶちと採れました。摘んだお茶にお湯を注ぎ試飲したり、主人は運転手のつもりで参加したのですが、とても気に入り来年も行こうと大はりきりです。

帰りには駿河湾の桜エビを買って、新茶と桜エビの天婦羅を美味しく頂きました。先日は利尻島旅行にもお茶を持参しました。旅先での美味しいお茶はまた格別です。



神奈川県 K 様

## ★ お子様の自然体験のために

皆様にとっても親切に案内頂き、家族四人でとても楽しいお茶摘み体験ができました。帰りの車中でも、自宅に戻ってから、二人の子供がまた行きたいと言っているのを聞くと楽しかったんだなと改めて伺って良かったと感じております。頂いたお茶葉は翌日から一週間、おかずとして頂きました。



神奈川県 A 様